

家計調査結果でみた最近の消費動向について

令和2年2月25日
総務省統計局消費統計課

1. 消費税率引上げ前後の消費支出の推移

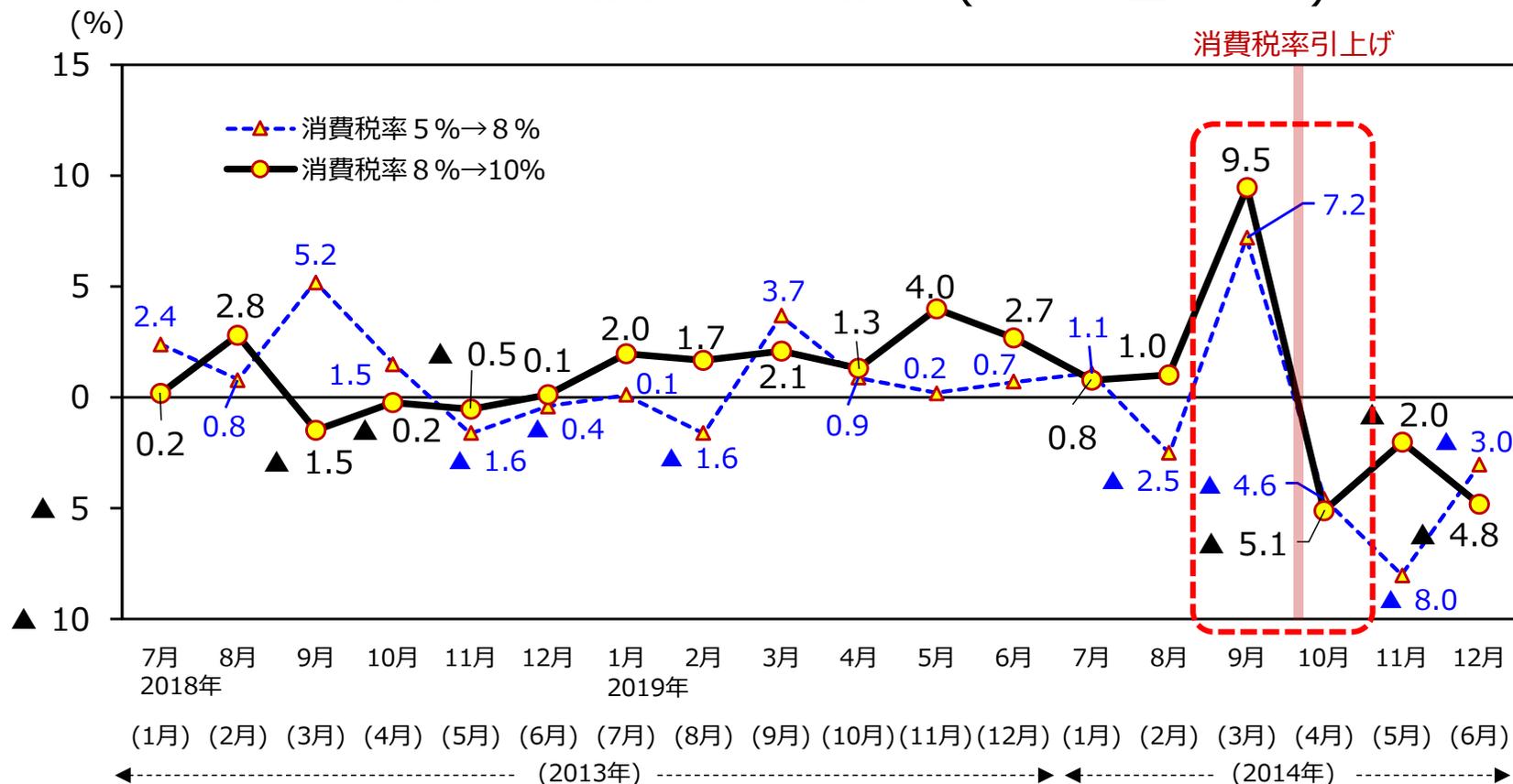


○消費税率引上げ前後において、消費支出を1年前と比べると次のとおり。

(1) 引上げ前月 (2014年3月) +7.2% (2019年9月) +9.5% 前回より大きな増加幅

(2) 引上げ当月 (2014年4月) ▲4.6% (2019年10月) ▲5.1% 前回より大きな減少幅

対前年同月実質増減率の推移 (二人以上の世帯)



(1) 消費税率引上げ前月の消費支出の状況

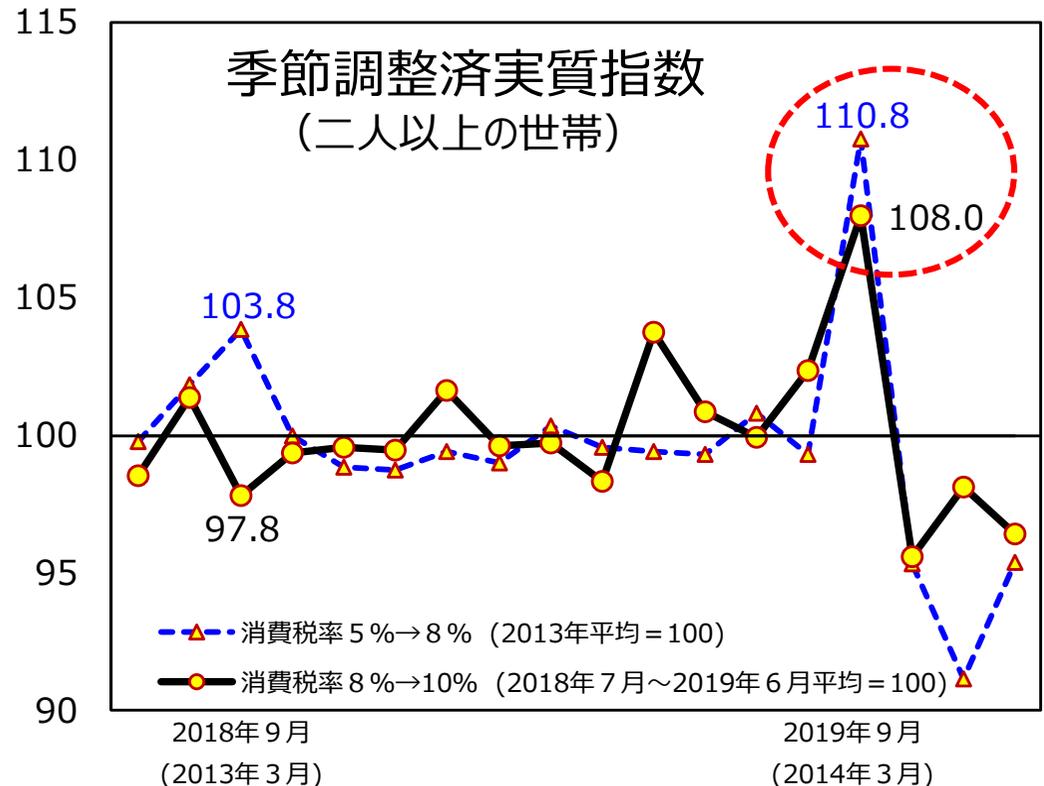
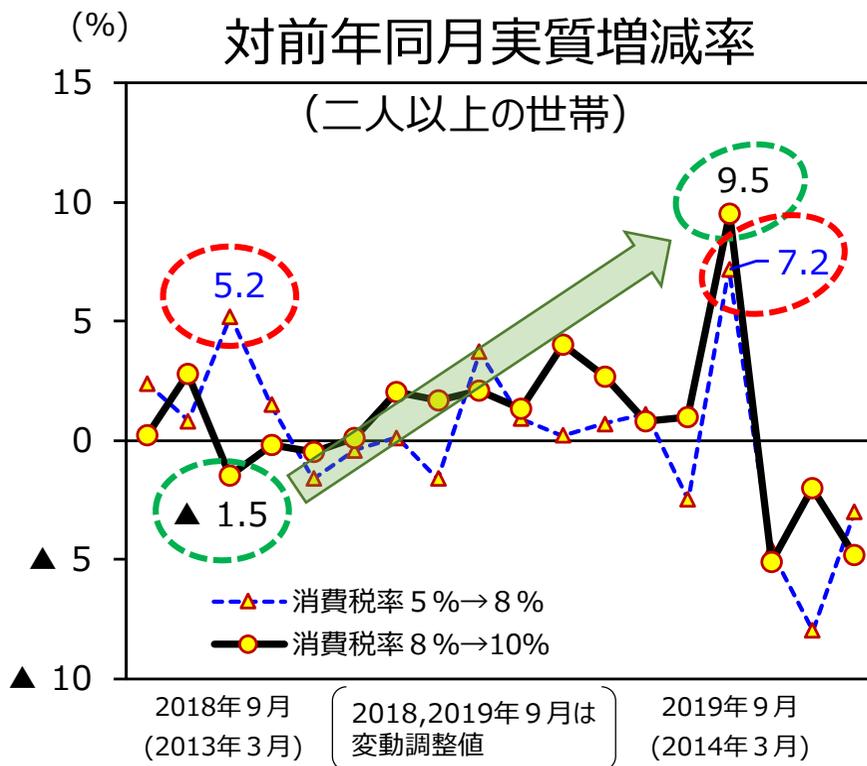


○消費税率引上げ前月の状況は、2014年3月が+7.2%、2019年9月が+9.5%だが、この増減率の差には、1年前の消費の状況の違いも影響している。

2013年3月：前年と比べて天候が良かったことなどによる消費の増加 (+5.2%)

2018年9月：台風の影響による消費の減少 (▲1.5%)

○季節性等を調整し、前年1年間の平均を100とした指数でみると、2014年3月は110.8で、2019年9月は108.0となる。



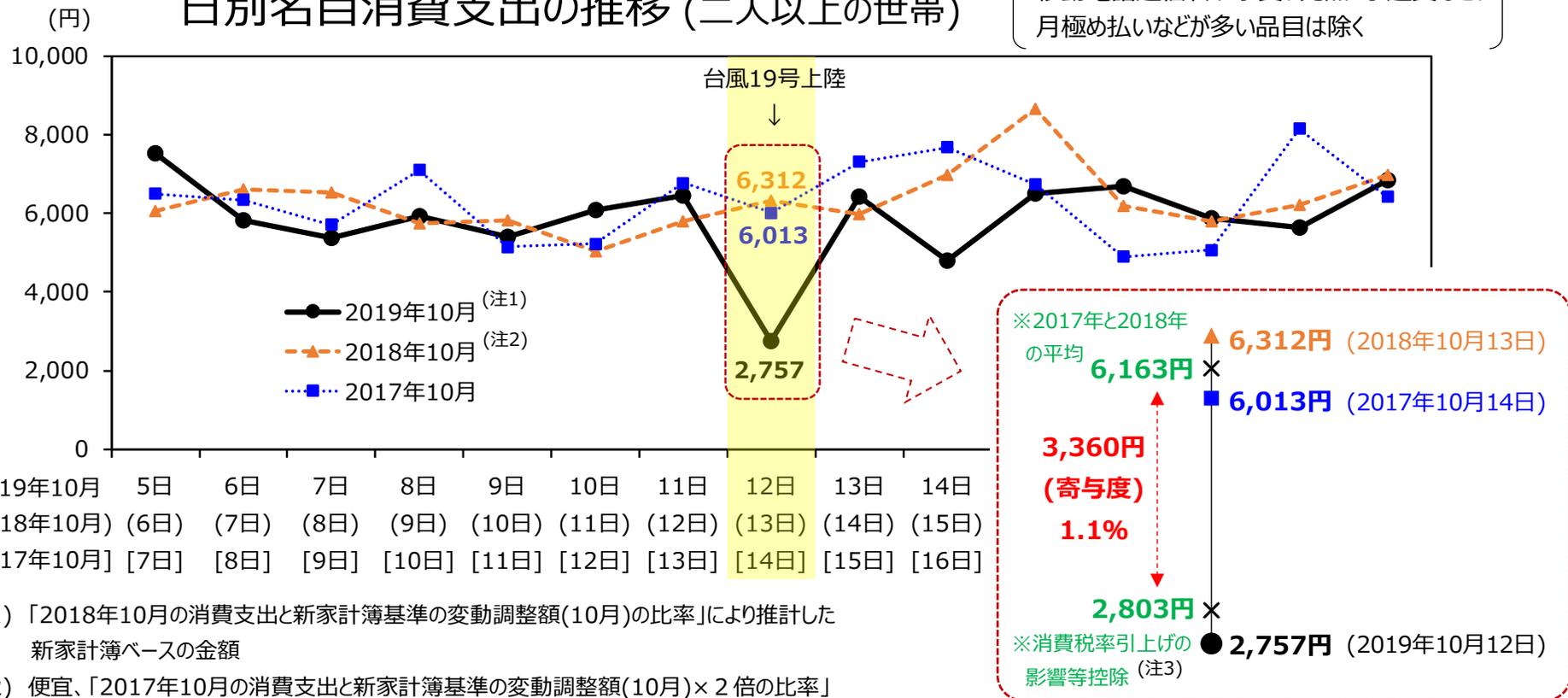
(2) 消費税率引上げ当月の消費支出の状況①



- 消費税率引上げ当月の状況は、2014年4月が▲4.6%、2019年10月が▲5.1%だが、この増減率の差には、2019年10月に大型台風(19号)が上陸した影響も含まれる。
- 曜日を合わせて、2017年から2019年の10月の日別の消費支出を比較すると、2019年は、台風19号が上陸した日の消費支出が大きく落ち込んでいる。

日別名目消費支出の推移 (二人以上の世帯)

（移動電話通信料や家賃、光熱・水道費など、月極め払いが多い品目は除く）



(注1) 「2018年10月の消費支出と新家計簿基準の変動調整額(10月)の比率」により推計した新家計簿ベースの金額

(注2) 便宜、「2017年10月の消費支出と新家計簿基準の変動調整額(10月)×2倍の比率」により推計した新家計簿ベースの金額

(注3) 台風上陸日を除いた消費支出の、2019年と2017,2018年の比率で推計

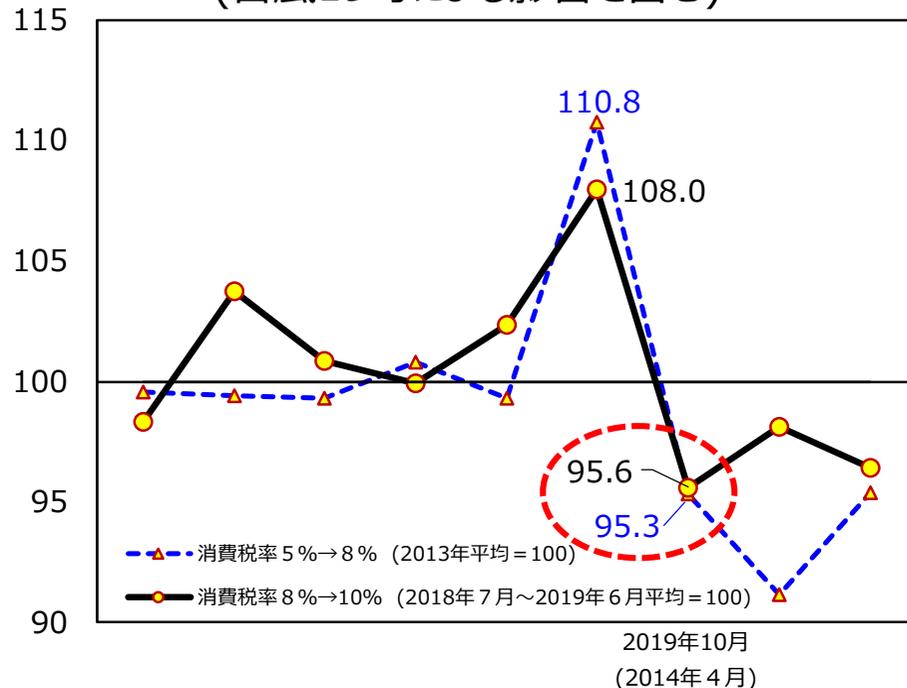
(2) 消費税率引上げ当月の消費支出の状況②



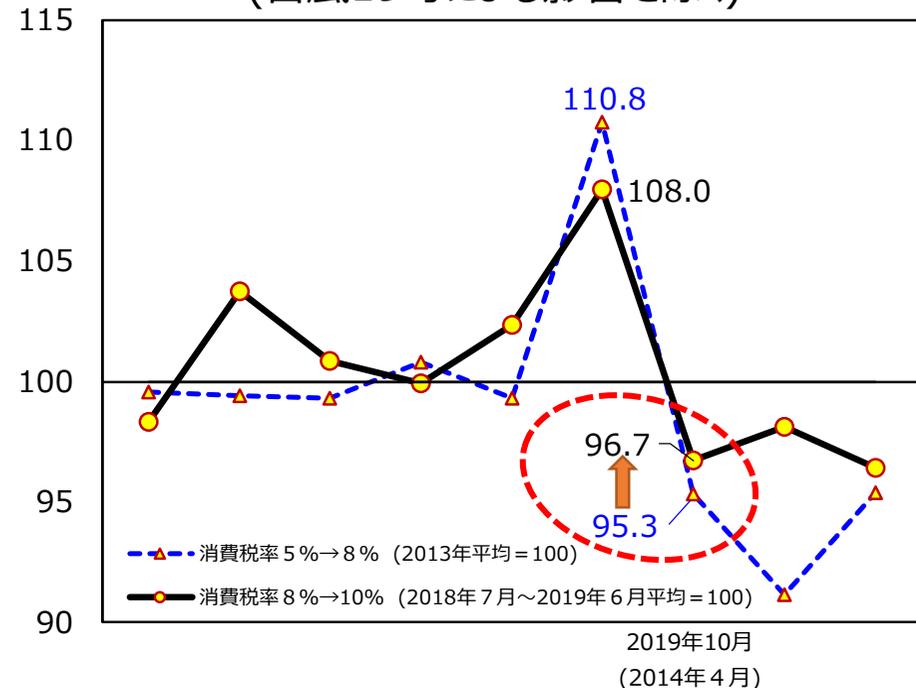
- 季節性等を調整し、前年1年間の平均を100とした指数で比較すると、
2014年4月は95.3、2019年10月は95.6(公表値)と、ほぼ同レベルになる。
- ここから台風19号による影響額(10月12日の消費支出落ち込みにより推計)を取り除くと、
2019年10月は96.7(公表値と比べて+1.1)となる。

季節調整済実質指数 (二人以上の世帯)

(台風19号による影響を含む)



(台風19号による影響を除く)



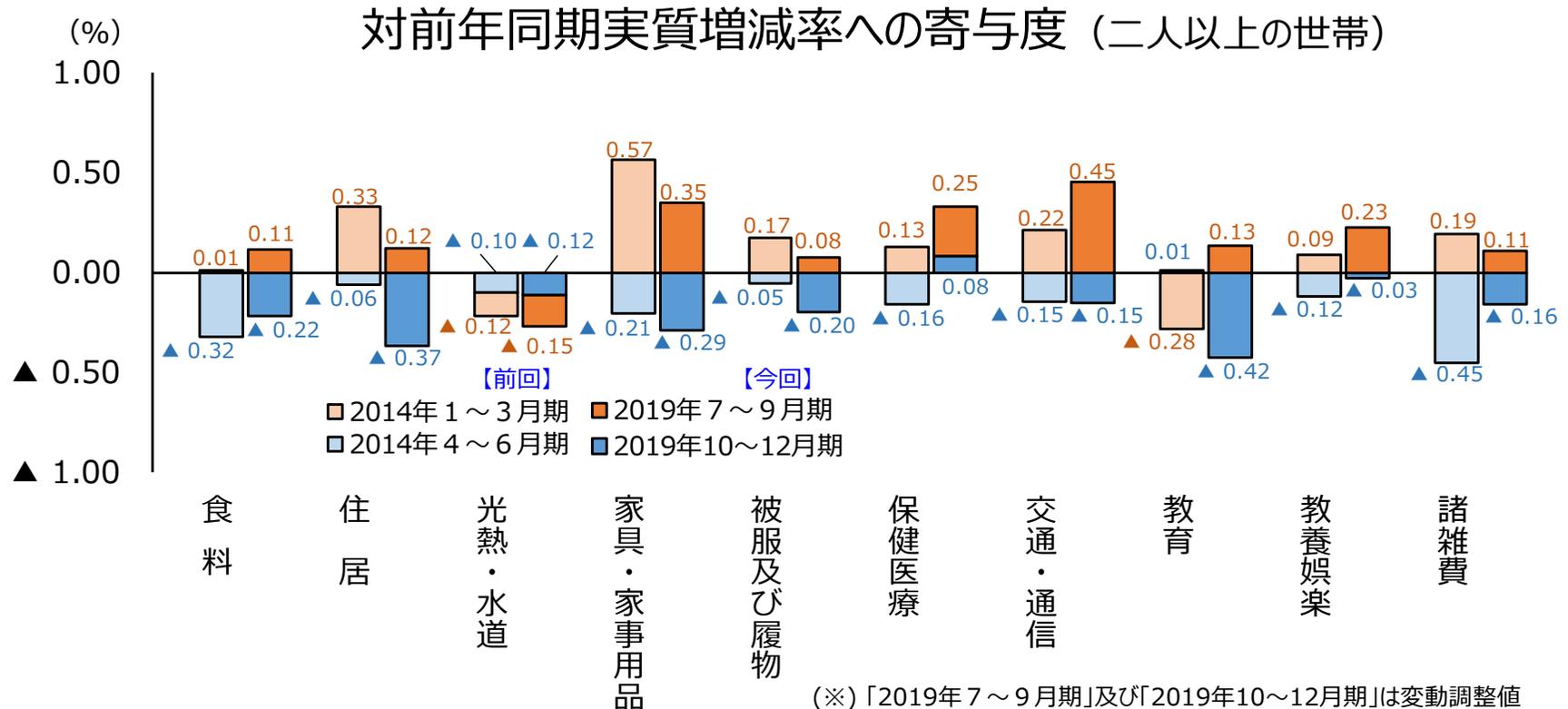
2. 消費税率引上げ前後における品目別消費の状況



○消費税率引上げ前後の半年間における増減率を、引上げ前後・費目別に寄与度分解。

【対前年同期実質増減率】(2014年1～6月)▲1.5%、(2019年7～12月)▲0.3%

食料	今回の方が、 <u>引上げ後の減少寄与は小さい</u>
家具・家事用品	今回の方が、 <u>引上げ前の増加寄与は小さい</u>
被服及び履物	今回の方が、 <u>引上げ後の減少寄与は大きい</u>
保健医療	今回は、引上げ前に加え、 <u>引上げ後も増加に寄与</u>

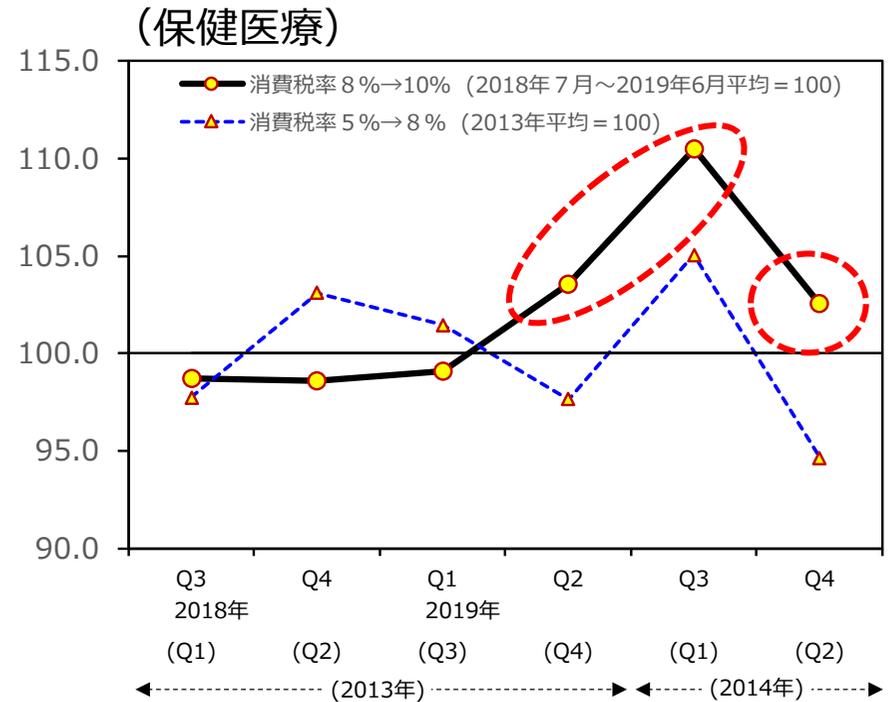
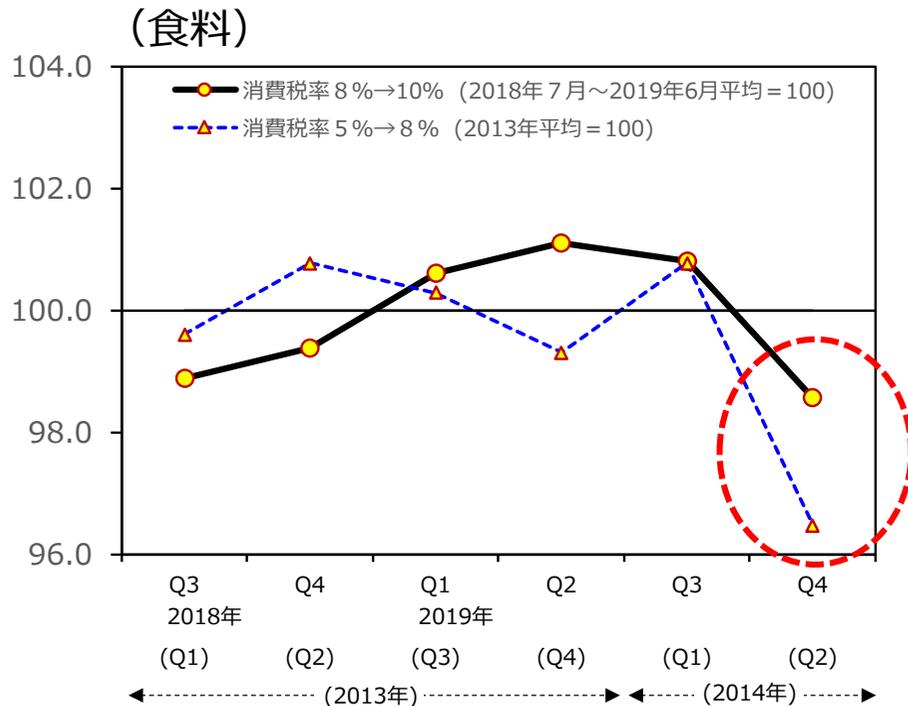


消費税率引上げ前後の費目別消費支出①



費目	引上げ前	引上げ後	備考
食料	同レベル	今回の方が減少幅小	今回は、軽減税率導入
保健医療	今回の方が増加幅大	今回は大きな落ち込みがない ※インフルエンザ流行による診療代や 予防接種代なども増加に寄与	今回は、健康志向の高まりや高齢化 などで、引上げ前から増加傾向

季節調整済実質指数（二人以上の世帯）



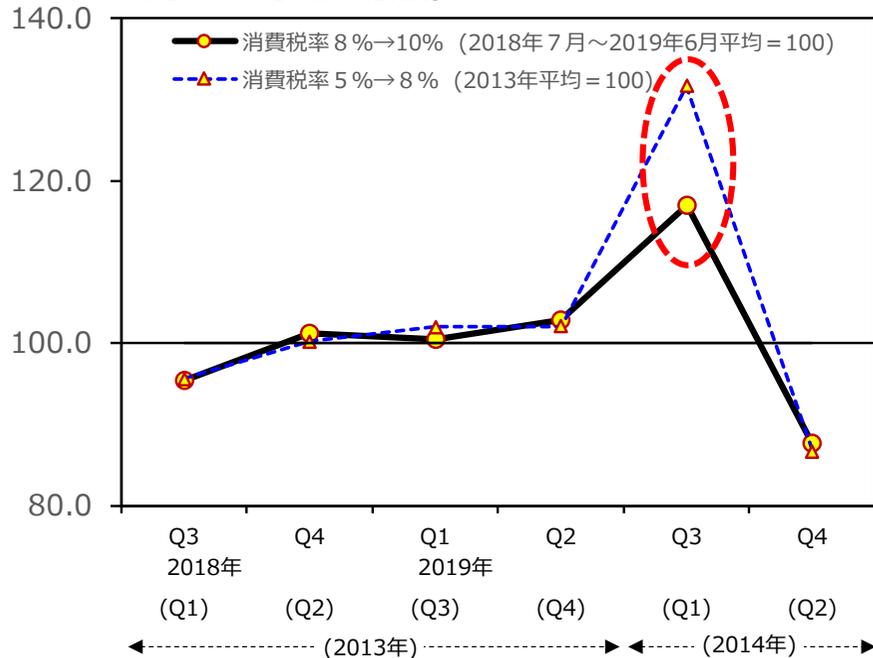
消費税率引上げ前後の費目別消費支出②



費目	引上げ前	引上げ後	備考
家具・家事用品	今回の方が増加幅小	減少幅は同レベル	今回は、台風が10月の3連休を直撃したことや、暖冬の影響(暖房器具販売減)などが影響
被服及び履物	今回の方がやや増加幅小	今回の方が減少幅大	今回は、天候要因(台風上陸や気温高)が高単価の冬物衣料の売れ行きに影響

季節調整済実質指数 (二人以上の世帯)

(家具・家事用品)



(被服及び履物)

